

令和6年度
学校評価（自己評価）報告書

江戸川看護専門学校

目 次

I	教育理念・目的・育成人材像	1
II	学校運営	2
III	教育活動	6
IV	学修成果	11
V	学生支援	13
VI	教育環境	15
VII	学生の募集と受け入れ	16
VIII	財務	17
IX	法令等の遵守	18
X	社会貢献・地域貢献	20

*評定について

- 4 一方針に基づいた活動が行われ、理念・目的・教育目標の達成度が極めて高い。
- 3 概ね、方針に基づいた活動が行われ、理念・目的・教育目標もほぼ達成されている。
- 2 一方針に基づいた活動や目的・教育目標の達成がやや不十分である。
- 1 一方針に基づいた活動や理念・目的・教育目標の達成が不十分であり、改善すべき点が多い。

I 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	評価指標	総 括	評価（４段階） 参照資料
<p>【I-1】 理念・目的・ 育成人材像</p>	<p>1) 理念・目的・育成人材像は定められているか 2) 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか 3) 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 4) 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p>	<p>本校は「地域医療への貢献」を基本理念として、令和４年の３ポリシー改定を軸に、現代の医療ニーズに対応した育成人材像を明確化し、教育活動に反映している。理念やポリシーは学生・保護者・地域へ広く周知され、地域医療機関との連携によって実践的な教育を実施している点が特徴である。</p> <p>授業・実習においては、ICT活用、現役医療者による講義、地域施設での臨地実習などを通じて、専門職として求められる実践力・協働能力・倫理観の育成を図っている。</p> <p>また、卒業生支援や地域との継続的協働により、医療現場のニーズを教育内容に反映する体制を保持している。</p> <p>一方で、理念・ポリシーの浸透と評価の仕組み、地域医療の変化への継続的対応、実習施設の多様化、シミュレーション教育の整備、中期構想の具体化と進捗管理などが今後の課題として挙げられる。</p> <p>これらに対して、内部研修の強化、地域医療機関との連携深化、教育内容の体系化・評価方法の高度化が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師会の看護学校として「地域医療への貢献」を明確に掲げている点が特徴であり、理念と教育内容が地域ニーズに直結している。 2. 令和４年に３ポリシーを改定し、社会の変化に合わせて迅速に教育方針を更新していることは、柔軟性と改善意識の高さを示している。 3. 江戸川区内の医療機関・福祉施設との強いネットワークにより、地域包括ケアに対応した実習体制を確保している。 4. ICT活用教育やシミュレーション教育の準備など、教育方法の高度化に積極的である。 5. 卒業生との結びつきが強く、現場の声を教育改善に反映できる仕組みを持つ点も本校の特色である。 6. 今後の発展に向けて、中期計画の具体化や教育成果の体系的評価など、内部の質保証体制の整備が進行中であることが特殊事情として挙げられる。 	<p>【評価】2.7</p> <p>参照資料】 学生便覧等、学校案内、学校ホームページ 業務委託契約書、協定書 学校の将来構想</p>

Ⅱ 学校運営

評価項目	評価指標	総 括	評価（4段階） 参照資料
【Ⅱ-1】 運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか	<p>本校の教育理念は「地域社会に貢献しうる質の高い看護専門職業人の育成」である。令和5年度の学校運営方針中の「新カリキュラムの円滑な運営」、「実習施設との密な連携」については、教育課程の円滑な進行と実習施設との継続的な連携がはかられ、目標が達成されたため今年度からは除外した。その他の方針については継続とし、今後は教育DXの推進化が重要と鑑み方針を追加した。令和6年度における運営方針を以下に定めた。</p> <p>1. 学校運営と管理を考えた行動 2. 適切な学習環境の整備（行事・式典） 3. ボランティア活動の推進 4. 教職員の研修会・自己研鑽 5. 入学時からの学習支援体制づくり</p> <p>運営方針は、令和6年度江戸川区医師会「学校運営委員会」において、「国家試験合格率100%」「学生確保」に向けて令和6年度の学校運営事業計画が定められた。この医師会の学校運営方針、事業計画、また本校の教育理念に基づき学校運営方針を定めている。</p> <p>教職員には、学校運営方針を職員会議等で周知し、目標管理シートに文章化し教職員に配布している。</p> <p>令和6年4月に、各教員の業務について、運営方針に基づいた令和6年度の目標を立て、「目標管理シート」に反映させた。職員会議（月1回）で進捗状況を報告して教職員に周知した。年度末に（3月）に事業報告を行った。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営委員会資料および議事録 ・職員会議資料および議事録 ・学生便覧

<p>【Ⅱ-2】 事業計画</p>	<p>理念等を達成するための事業計画を定めているか</p>	<p>令和 6 年度江戸川区医師会「学校運営委員会」において、「国家試験合格率 100%」「学生確保」に向けて、本校の理念を踏まえ令和 6 年度の学校運営事業計画が定められた。令和 6 年度の中期計画としては前年度とほぼ同様の計画とした。</p> <p>令和 6 年度の実業計画は、以下 9 項目とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 諸会議（学校運営委員会、管理会議、職員会議、教務会、学校評価検討会議等）を定期的に開催し、機能的な学校運営を図る。 2. 地域医療を担う、豊かな人間性と質の高い看護人材育成の教育方針に則り、教育・指導を行う。 3. 適正な学習環境を整備するとともに、学校行事、式典等を適切に開催する。 4. 臨地実習での学生指導が円滑に行われるよう、実習施設と協議会等を定期的に開催し、連携を図る。 5. ボランティア・広報活動を通じて、本校の理念にある地域貢献の看護師養成所であることを啓発する。 6. 各種奨学金や本校の特待生度を有効に活用し、学生確保や支援に努める。 7. 各教員に対して積極的に研修会への出席を勧奨し、自己研鑽に努めるよう指導する。 8. 堅実な学校運営のため、教職員の適正職務配分や業務の合理化を図り、組織全体として合理的な学校運営に努める。 9. 教職員が一致団結し、看護師国家試験の全員合格を目指す。 <p>→令和 6 年度看護師国家試験合格率 新卒 94.4%（令和 5 年度 87.2%） 全体 86.7%（令和 5 年度 78.2%）</p> <p>事業計画の執行体制は、教職員の業務毎に計画・実施し、月 1 回の「学校運営委員会」にて各業務報告し、評価する。さらに年度末に事業報告書として医師会に提出する。事業計画・実施・評価については、「目標管理シート」を活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 諸会議は、定期的実施し、教職員に周知を行ったが、学校評価検討会議については「学校評価実施規程」どまりで、開催に至らなかったため、次年度開催していく。 3・7・8. 学習環境の整備として、教育 DX の推進のため、執行体制・業務分担などの事業計画を検討している。 <p>事業計画の執行・進捗状況については、職員会議等で確認している。</p>	<p>【評価】 3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営委員会資料および議事録 ・職員会議資料および議事録
-----------------------	-------------------------------	---	---

<p>【Ⅱ-3】 運営組織</p>	<p>1) 設置法人の組織運営を適切に行っているか 2) 学校運営のための組織を整備しているか</p>	<p>一般社団法人江戸川区医師会は、「地域住民の健康と社会福祉の増進」を目的として、多岐にわたる事業をその時々々の要請に応じ、適切に実施していくことを推進している。江戸川区医師会の事業内容は、医療検査センター・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・看護専門学校など主に6つの事業を行っている。各事業は運営委員会を設置し、全体には総務委員会・財務委員会・理事会等を定期的に開催している。今後は看護学校の教育DXの推進に伴い、「総括支援室」から担当者を選抜して、事務課・教務課と共に執行体制を検討している。</p> <p>学校運営組織は、一般社団法人江戸川区医師会を設置者とし、江戸川看護専門学校運営委員会（学校長・副校長・校務主任含む）、教務課、事務課で組織され、学生便覧「職員組織及び諸会議に関する細則」組織規程等で役割・所掌などを明確にしている。また、学校運営に関する意思決定のための会議を定期的に開催している。学校運営に関する規定は、年度末に見直し、学校運営委員会の承認を経て改正を行っている。事務職員における「教務事務」は、業務内容を明確にし、実施可能にしていく。</p> <p>学校組織に関わる教員・事務職員は江戸川区医師会の就業規則に、職務内容については学則・細則の「職員組織及び諸会議に関する細則」に基づいて職務を遂行している。また、学校運営に関する諸会議（管理会議・職員会議・教務会議他）についても定期的または必要時に開催している。事務職員の「教務事務」については、業務内容を明確にし、業務分担を行い実施している。</p> <p>学校運営に関する規定については、昨年の検討課題を受けて、「学生細則」「履修科目及び単位認定に関する細則」「図書室利用に関する細則」「入金金及び授業料に等に関する細則」「懲戒に関する細則」を改訂した。</p> <p>今後の規則・規定の見直し、改定については、「学校評価実施規程」「学生の旧姓使用の取り扱い要項」の新規規程について検討している。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・総務委員会議事録 ・学生便覧（学則・細則）、就業規則 ・学校運営委員会資料および議事録 ・職員会議資料および議事録
-----------------------	---	---	--

<p>【Ⅱ-4】 人事・給与制度</p>	<p>人事・給与に関する制度を整備しているか</p>	<p>教員採用については、採用基準・手続きなどの規定に沿って運用する。採用広報に関してはコスト削減のため無料サイトを活用する方針である。現在2名の専任教員の欠員があり、パート実習指導教員2名の内1名を専任教員として採用した。また専任教員が休職した関係で、急遽無料採用広報にて募集をかけ、パート実習指導教員2名を採用した。</p> <p>給与支給・人事考課等については、基準・規程に沿って運用する方針である。今年度は人事考課制度を運用し、課長補佐教員1名、主任教員2名を推薦し昇任された。</p> <p>専任教員の欠員(1名)については、無料採用広報にかけている。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則、人事規程、給与規定、昇給・昇格規程、人事考課規程 ・採用基準、採用広報資料 ・教職員名簿、教職員の採用記録
<p>【Ⅱ-5】 意思決定システム</p>	<p>意思決定システムを整備しているか</p>	<p>学校運営は、学則第29条・30条(職員組織・諸会議)、「職員組織及び諸会議に関する細則」に規定している。職員組織、各職員の所掌等、それぞれ権限・責任・教務分掌について定めている。事務分掌については検討を要する。また、諸会議(管理会議・職員会議・認定会議・教務会議・学校評価検討会議)についても規程に定めている。教務会議・職員会議は月に1回であるが、状況に応じて臨時で開催している。単位認定、学生審議に関することは、教務会議、職員会議後「管理会議」で決議を行っている。学生の多様化に伴い、教育指導における学生対応が困難をきたしている傾向がみられる。また、出欠席・単位認定他についても審議を要する案件が増加している。今後はさらに、学生における審議事項については、今後も教職員が一貫した学生対応していくため、教務会議・職員会議・管理会議などで、検討、決議していく必要がある。</p> <p>財務等に関する意思決定については、「管理会議」後、学校運営委員会にて決議している。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧(学則・細則) ・教務会議・職員会議資料および議事録 ・学校運営委員会資料および議事録
<p>【Ⅱ-6】 情報システム</p>	<p>情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか</p>	<p>学生に関する情報システム(インフォ・クリッパー)の運用の項目を検討し、業務の効率化を図っていく。情報システムの項目として、学生情報(学籍・成績・出欠・面談記録)、入試、就職、教育課程などのシステム構築され、学生指導等に活用されている。臨地実習における出欠管理について検討したが、規定が困難のため運用できなかった。</p> <p>情報システムの運用に際しては、データ更新・個人情報漏洩防止に対応するためにメンテナンスおよびセキュリティ体制を確立していく。今年度は情報システムの整備(ネットワークの状況)は実施した。</p> <p>今後は、教育DXの推進を図るため、情報システム・ICT機器等についての計画・予算を検討している。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム概要・システム構造図 ・教務会議・職員会議資料および議事録 ・情報ネットワークの整備状況 ・セキュリティー(Pマーク)関係資料

Ⅲ 教育活動

評価項目	評価指標	総括	評価（４段階） 参照資料
【Ⅲ-1】 目標の設定	1) 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 2) 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<p>本校は、教育理念・目的および3つのポリシーに基づき、看護師として必要な知識・技術・態度を段階的に育成する教育課程を明確に設定している。令和4年度から導入した新カリキュラムでは、3年間で104単位・3060時間の修得を卒業要件とし、修業年限に応じた教育到達レベルを示すとともに、現代の医療ニーズに対応した内容へと見直しを行っている。教育課程は講義要綱に分野設定や科目の目的・概要を明示することで体系的に構築され、学生が段階的に実践力を高められるよう運用されている。新旧カリキュラムが混在する期間においても、留年生の履修支援や読みかえ科目への対応、教職員間の情報共有などを行い、教育の質を維持している。</p> <p>一方で、授業時間数増加による教育課程の過密化、新旧カリキュラム混在による混乱、教育到達レベルの共有不足、学修成果評価の明確化などが課題として挙がる。これらに対して、ICTの活用、評価基準の整備、教員研修の充実、履修指導の強化など、教育の質保証体制の改善が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理念・目的・3つのポリシーを明確に文書化し、教育課程編成に一貫して反映している点は本校の大きな特徴である。 2. 新カリキュラムを導入しているが、新旧カリキュラムが混在する過渡期であり、留年生への個別支援や読みかえ対応が必須となる特殊な状況がある。 3. 3年間で104単位・3060時間という全国基準に基づいた到達レベルを設定し、学年段階に応じて必要能力を育成する体系的な教育設計を行っている。 4. 多様化する医療現場に対応するため、単位数・時間数を増やし、教育内容を強化した点は本校の積極的な教育改善の姿勢を示している。 5. 教育過程の過密化・新旧混在など課題がある一方、ICT活用や教員研修の充実など、改善に向けた取り組みを継続的に行っていることが特色である。 	<p>【評価】 3.0</p> <p>学生便覧、講義要綱、教育課程科目読み替え表 教育課程変更承認申請書類 教務会議議事録</p>

<p>【Ⅲ-2】 教育方法・評価等</p>	<p>1) 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 2) 教育課程について外部の意見を反映しているか 3) キャリア教育を実施しているか 4) 授業評価を実施しているか</p>	<p>本校は、教育理念・目的および3つのポリシーに基づき、体系的な教育課程を編成し、看護実践力の育成を目標とした教育を実施している。教育課程は講義要綱や学生便覧に明確化され、集中会議での検討を通じて講義・演習・実習の体系性を確保している。また、施設見学・フィールドワーク・学年をこえた学び合い・臨地実習など、多様な教育方法を取り入れ、実践につながる学びを促進している。</p> <p>外部の意見については、東京都の指導や設置主体である医師会、就職先・卒業生の意見を取り入れながら教育内容を改善している。キャリア教育についても、マナー講座や就職ガイダンス、社会人基礎力チェックシートの活用などを通じて、専門職としての将来像を描ける支援を行っている。さらに、授業評価を行い、教員・講師へのフィードバックを通して授業改善を図るなど、教育の質向上に向けた取り組みを継続している。</p> <p>一方で、新カリキュラムの検証やICT活用の不足、外部意見の収集体制の整理、キャリア教育の体系化、授業評価のフィードバック不足など、組織的な改善が求められる課題も明らかになっており、これらについては体制整備と質保証の強化が必要である。</p> <p>1. 教育理念・目的・3ポリシーを明文化し、教育課程編成の基盤として体系的に運用している点が特徴である。</p> <p>2. 施設見学・フィールドワーク・地域看護実習・学年縦断型学習など、実践力育成に直結する多様な教育方法を取り入れている。</p> <p>3. 東京都や医師会など外部機関との関係が強く、就職先・卒業生からの意見を教育改善に活かしている点は特色である。</p> <p>4. キャリア教育として、社会人基礎力評価や専門講師を活用した授業、卒業生との交流を重視している。</p> <p>5. 授業評価を実施し改善に活かしているが、新カリキュラム過渡期のため、教育課程の運用改善が進行中であるという特殊事情がある。</p>	<p>【評価】2.5</p> <p>学生便覧、講義要綱、教育課程科目読み替え表 実習要綱、実習指導要領 教育課程変更承認申請書類 教務会議議事録、理事会議事録 各教科のアンケート用紙・授業アンケート集計結果</p>
---------------------------	--	---	---

<p>【Ⅲ-3】 成績評価・ 単位認定等</p>	<p>1) 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 2) 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</p>	<p>本校は、成績評価・修了認定基準の明確化と公正な運用を重視し、学則・履修規定に基づく基準の周知と成績判定会議による客観性の確保に努めている。また、入学前履修科目の適切な審査や、レポート・成果物による多様な評価方法の導入など、学生の学びを正しく評価する仕組みを整えている。</p> <p>さらに、学生の学習成果を外部へ発信することを推進しており、学会発表に向けた支援や個別指導を行うことで、学びの可視化と成長機会の拡大を図っている。</p> <p>一方で、科目による評価基準のばらつきや、既修単位認定手続きの理解不足、学習成果の把握が一部に留まっている点が課題である。これらを改善するため、評価基準の統一化、成果把握の体制整備、情報共有の強化など、より体系的な教育の質保証が求められている。</p> <p>1. 学則・履修規定に基づき、成績評価基準を明確に提示し、公正性を担保する仕組みが整備されている点が特徴である。</p> <p>2. 入学前履修科目について、専門講師による審査と会議での決定という二重チェック体制をとり、適切性の高い認定を行っている。</p> <p>3. レポート・成果物評価など多様な評価方法を導入しており、実践的な学びを評価に反映できる点が特色である。</p> <p>4. 学生の学習成果を学会等で発表する取り組みを支援しており、教育成果の外部発信を積極的に行っている。</p> <p>5. 新カリキュラム運用期であり、評価基準の統一化や成果把握方法の整備が進行中であるという特殊な状況がある。</p>	<p>【評価】 2.5</p> <p>学生便覧、講義要綱、教育課程 科目読み替え表 実習要綱、実習指導要領 成績判定会議資料、学校運営会議資料 学会抄録等</p>
----------------------------------	---	---	---

<p>【Ⅲ-4】 資格・免許の 取得の指導 体制</p>	<p>1) 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 2) 資格・免許取得の指導体制はあるか</p>	<p>本校では、看護師免許取得を教育の中心目標として明確に位置づけ、指定規則に基づいた科目配置・単位数・実習構成を教育課程に反映している。学生便覧やホームページを通じて、資格取得に必要な内容を公開し、学生・保護者への周知を図っている点も評価できる。</p> <p>指導体制についても、1年次から国家試験を見据えた学習支援を行い、模擬試験や個別指導、予備校・講師の活用、チューター制度など、多面的な支援を整えている。これにより、卒業と国家試験合格に向けた継続的な学習支援が機能している。</p> <p>一方で、資格取得に関する教育課程の位置づけや支援体制の意義が学生に十分浸透していない点、情報更新の遅れ、支援方法の標準化、学習意欲の維持などが課題として挙げられる。これらを改善するためには、情報提供体制の見直し、支援方法の統一化、学習記録の分析による個別支援の充実が求められる。</p> <p>1. 教育課程に資格取得要件を明確に位置づけ、指定規則に完全準拠した体系的なカリキュラムを編成している点が特徴である。</p> <p>2. 1年次から国家試験対策を開始し、模試・チューター制度・予備校連携など、多段階の支援体制を整えていることが特色である。</p> <p>3. 個別指導が手厚く、下位層への支援にも重点を置いている点は、本校の教育姿勢を示す特殊な取り組みである。</p> <p>4. 学生便覧・ホームページによる情報公開を行っているが、更新タイミングや学生理解の差が課題となる状況にある。</p>	<p>【評価】 2.5</p> <p>学生便覧、講義要綱、教育課程科目読み替え表、実習要綱、実習指導要領、ホームページ、国家試験対策スケジュール、国家試験対策指導指針、模擬試験結果、教務会議・運営会議資料</p>
--	--	---	--

<p>【Ⅲ-5】 教員・ 教員組織</p>	<p>1) 資格・要件を備えた教員を確保しているか 2) 教員の資質向上への取組を行っているか 3) 教員の組織体制を整備しているか</p>	<p>本校では、指定規則に基づく資格・要件を備えた教員の確保を重視し、履歴・資格・実績の確認や採用手続の適正運用を通して、教育の質保証に取り組んでいる。教員の資質向上についても、研修会や学会参加の推進、キャリアポートフォリオの活用、非常勤職員への資格取得支援など、多様な方法で教員の成長を支える体制を整えている。</p> <p>また、職員組織や会議体を規定に基づいて整備し、業務分担を明確化することで、教員間の連携や教育内容の検討が行える基盤を確保している。しかし、教員間の情報共有や会議運用が十分に組織化されていない点、非常勤教員への業務依頼内容が明確でない点、教員の専門性維持や研修参加の均等化など、今後さらに改善が求められる課題も明らかとなっている。</p> <p>これらの課題に対しては、研修計画の整備、会議の定期化と議事録管理、非常勤教員の業務内容の可視化、採用方法の多様化など、組織体制と教員育成の両面から改善を図り、教育力向上につなげていくことが必要である。</p> <p>1. 看護教員資格を備えた教員を確実に配置し、採用時に資格・実績を厳格に確認する運用を行っている点が特色である。</p> <p>2. 「看護教員キャリアポートフォリオ」を活用し、教員の自己振り返りと学習を促進している点は、本校独自の取り組みとして特徴的である。</p> <p>3. 非常勤職員へ通信教育等による資格取得を支援するなど、教員層全体のスキルアップに取り組む体制が整っている。</p> <p>4. 職員組織・会議体の規定が整備されているものの、新カリキュラムや人事状況の変化に伴い、教員間の情報共有や連携強化が課題となっているという特殊事情がある。</p>	<p>【評価】 2.3</p> <p>学生便覧、履歴・資格・実績等記載された書類等のファイル 教員一覧・教員名簿 教職員業務分担表、看護教員のキャリア発達のめやすと研修プログラム(キャリアポートフォリオ)</p>
-------------------------------	--	---	--

IV 学修成果

評価項目	評価指標	総 括	評価（4段階） 参照資料
【IV-1】 就職率	就職率の向上が図られているか	<p>本校は、設置主体である江戸川区医師会の理念「地域医療への貢献」に基づき、地域の医療機関への高い就職率を重要な教育成果として位置づけている。就職ガイダンス、病院見学、インターンシップ、臨地実習などを通して、学生が早期から働く姿を具体的にイメージし、進路選択につなげられる体制を整えている。また、図書室での求人情報提供、個別の面接指導、卒業生からの情報提供や交流機会の設定など、就職支援を多面的に行っている。</p> <p>一方で、就職説明会の開催や卒業生との交流機会が十分体系化されていない点、就職データが学生の進路選択に十分活用されていない点など、進路支援体制のさらなる整備が求められる。これらの課題に対して、説明会の定期開催、卒業生交流の計画化、データ活用の強化など、組織的な取り組みを進めていく必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療への就職を重視する設置主体（江戸川区医師会）の理念に沿って、地域密着型の就職支援を行っている点が特徴である。 2. 臨地実習を地域の医療機関中心に配置することで、学生が地域医療に触れながら将来像を明確にできる教育環境が整っている。 3. 卒業生からの便り掲示や来校時の交流など、実際に現場で働く看護師の情報を学生が得られる機会がある点は本校ならではの特色である。 4. 就職状況を継続的にデータ管理しているものの、進路支援への体系的反映が今後の改善点として挙げられる。 	<p>【評価】 3.0</p> <p>学生別就職活動状況記録、就職率に関するデータ・推移（会議資料）、運営委員会（業務報告）資料</p>

<p>【IV-2】 資格・免許の 取得率</p>	<p>資格・免許取得率の向上が図られているか</p>	<p>本校では、設置目的である「地域医療に貢献できる質の高い看護実践者の育成」を実現するため、看護師国家試験の合格率向上を重要な教育成果として位置づけている。1年次から計画的に国家試験対策を開始し、模擬試験による学力分析、個別面談、講座・集中講義、学習環境の整備など、多面的な支援を行っている点は評価できる。また、既卒生にも同様の支援を提供するなど、継続して資格取得を支える体制が整えられている。</p> <p>一方で、学生の生活状況により学習時間の確保が困難であることや、実習と試験勉強の両立負担が大きいことなど、国家試験合格率向上の妨げとなる要因が見られる。これらの課題に対して、奨学金制度の活用促進、実習記録の見直し、基礎学力の早期強化など、学習負担の軽減と効果的な支援体制の強化が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国家試験対策を1年次から計画的に組み込み、早期から継続的な支援を行っている点が大きな特色である。 2. 模擬試験の分析をもとに、学習面だけでなく精神面のフォローも行うなど、個別性の高い支援を行っていることが特徴である。 3. 学校開放や国家試験対策 WEB の導入など、学生が自主的に学習できる環境づくりに積極的な点が特記事項として挙げられる。 4. 子育て・アルバイトと学習の両立が必要な学生が多いという特殊事情があり、そのことが学習時間の確保や合格率に影響している。 	<p>【評価】 2.0</p> <p>国家試験対策年間計画書、1・2・3・既卒生指導計画書、年間スケジュール 時間割表、医学書院看護師国家試験問題 WEB</p>
----------------------------------	----------------------------	--	---

<p>【IV-3】 卒業生の社 会的評価</p>	<p>卒業生の社会的評価を把握しているか</p>	<p>本校は、卒業生の社会的評価の把握を教育改善に不可欠な要素と位置づけ、就職先の看護部や卒業生との連携を通して動向把握に努めている。学校行事や国家試験支援の機会を活用し、卒業生の近況や活動状況を把握しつつ、在校生へのアドバイスや相談支援にもつなげている。一方で、卒業生情報が個別的に留まり体系的な把握が困難であるため、継続的・組織的に情報収集し活用する体制づくりが課題となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職先の看護部との連携が強く、卒業生の評価や勤務状況を直接把握できる点は本校の大きな特色である。 2. 国家試験前に卒業生を招き、在校生への助言や進路相談を行う取り組みは、本校独自のロールモデル活用として意義が大きい。 3. 非公開 SNS を活用して卒業生との関係性を維持し、個別相談や情報共有が行われている点は、学生・卒業生の距離が近い学校文化を反映している。 	<p>【評価】 2.0</p> <p>学校運営会議議事録</p>
----------------------------------	--------------------------	--	----------------------------------

V 学生支援

評価項目	評価指標	総 括	評価（4段階） 参照資料
【V-1】 就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<p>本校では、学生が自身の適性や将来像を踏まえて進路を選択できるよう、就職担当教員を中心とした組織的な支援体制を整えている。個別進路相談、外部業者との就職セミナー、地域医療機関との連携によるガイダンス・見学・インターンシップの機会提供など、多面的な支援が行われている。また、認定看護師・専門看護師など高度な資格を持つ看護師を招いたキャリア形成支援や、卒業生の近況を共有する機会も設け、学生のキャリア理解を深めている。一方で、就職ガイダンスの定期化やキャリア支援の体系化など、組織的な支援体制の一層の強化が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸川区および周辺病院との連携が強く、地域医療機関と密接につながった進路支援ができている点が特色である。 2. 認定看護師・専門看護師・特定行為看護師など高度実践者による講義があり、学生が早い段階からキャリアを具体的に描ける環境が整っている。 3. 卒業生との交流機会を通じて、就職後のリアルな情報が得られ、在校生にとって実践的な進路選択支援につながっている。 	<p>【評価】 3.0</p> <p>就職担当者業務計画書・総括 学生の就職活動報告書 相談内容の個別記録 業者のセミナー資料</p>
【V-2】 中途退学への対応	退学率の低減が図られているか	<p>本校では、欠席率や健康状態の把握を通じた早期対応、教員間での学生情報共有、スクールカウンセラーとの連携などにより、退学率低減に向けた取り組みを進めている。兆候を早期に捉えて支援につなげる体制は一定程度整備されているが、対応が個別的で体系化されていない点、また入学動機が多様化に伴う進路変更を理由とした退学への十分な支援が課題となっている。今後は、退学予防策の組織的整備やキャリア理解支援の強化、継続支援体制の充実が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席状況や健康手帳の記録を細かく把握し、早期面談につなげるなど、きめ細かな個別支援を特徴としている。 2. スクールカウンセラーの活用など、心理面への専門的支援体制が整っている。 3. 入学動機が多様であるという学校の特性上、進路変更による退学が一定数発生しており、キャリア理解支援の強化が必要という特殊事情を抱えている。 	<p>【評価】 2.0</p> <p>退学者数データ、推移 指導経過記録、会議資料</p>

<p>【V-3】 学生相談</p>	<p>1) 学生相談に関する体制を整備しているか 2) 留学生に対する相談体制を整備しているか</p>	<p>個別相談は、学校カウンセラーの協力を得て学生の学生生活の支援体制を整備・支援してきた。また、教務課長など専任教員への相談希望の場合には、学生や保護者からの相談についての体制・支援をしてきた。</p>	<p>【評価】 3.0 職員単独での対応、特に SNS を使用した個別相談は避ける。 参考資料：インフォ・クリッパー(学生カルテの指導記録簿、あるいは報告書)</p>
<p>【V-4】 学生生活</p>	<p>1) 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 2) 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 3) 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか 4) 課外活動に対する支援体制を整備しているか</p>	<p>学生生活が成り立つための経済面については、例年通りである。しかし、2025 年度は専門実践訓練給付金の指定校から外されているため、他の奨学金(東京都奨学金、JASSO など)を受けられるよう支援をしていく必要がある。健康管理面、個人の生活上の事情に配慮しながら、学習に集中できる学校生活環境面や課外活動時間への体制と支援を行うことができていた。</p>	<p>【評価】 3.1 修学の支援に関する更新確認申請書 健康管理係活動報告 学生便覧(図書室利用に関する細則)</p>
<p>【V-5】 保護者との連携</p>	<p>保護者との連携体制を構築しているか</p>	<p>学生の学修活動に支障がないように、保護者との連携がとれるよう学級担任を中心に学生の学力や学校での様子を観察出来ていた。学力不足、心理面の問題解決にあたって、個別の面談の機会を保護者に提供できており面接記録の保存をしていた。</p>	<p>【評価】 3.3 入学式のおしらせ 戴帽式のご案内 統合実習中の夜間実習のおしらせ</p>
<p>【V-6】 卒業生・社会人</p>	<p>1) 卒業生への支援体制を整備しているか 2) 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 3) 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p>	<p>個々の希望に対応して社会人経験者の学生や卒業生に対しても学習支援、キャリアアップ支援を行うことができていた。国家試験の不合格の卒業への対応については、合格まで学習支援を徹底しており、国家試験取得まで丁寧なかかわりができているので継続している。さらに、学校行事である学校祭やオープンキャンパスに卒業生を招待して学校訪問してもらい、入学を考えている高校生との交流を図ることができた。</p>	<p>【評価】 2.7 看護師国家試験対策スケジュール・面談記録 卒業生就職状況報告書 学生便覧(図書室利用に関する細則)</p>

VI 教育環境

評価項目	評価指標	総括	評価（4段階） 参照資料
【VI-1】 施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設設備について法令基準に適合している。図書室、実習室といった学習支援を整えている。一方、経年劣化による看護モデル人形の一部破損や紛失図書の問題を解決できるよう努力が必要である。	【評価】 2.9 参照資料 ・教育用具管理表(定数管理表) ・物品管理リスト
【VI-2】 学外実習・インターンシップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	地域でのボランティア活動への参加することで、学生の社会性育成を支援するといった取り組みを通して、学生相互の連帯感の醸成につながっている。	【評価】 3.3 参考資料 ・スマホ教室案内資料 ・2025年度学生募集要項パンフレット
【VI-3】 防災・安全管理	1) 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 2) 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学内における災害時の行動・対処ができるように防災体制は整っている。また、自己への対応として損害賠償保険の加入を続けられている。	【評価】 3.0 参考資料 ・防災の取り決め書 防災訓練進行表 Will 総合保障制度加入依頼書

Ⅶ 学生の募集と受入れ

評価項目	評価指標	総 括	評価（４段階） 参照資料
【Ⅶ-1】 学生募集活動	1) 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 2) 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	学生募集活動として、学校ホームページや募集要項パンフレットを利用して広報を行うことができた。入学志願者からの入学に関する相談があれば、個別の対応も行うことができていた。	【評価】 3.2 参考資料 ・ 学校訪問スケジュール表 ・ 進学ガイダンス資料 ・ 学校ホームページ
【Ⅶ-2】 入学選考	1) 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 2) 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学基準・選考方法を規定、募集要項に記載、適切な運用ができています。一方、入学者定員に満たない状況が前年度同様続いている。広報の工夫としてインスタグラムの活用を行っているが、さらに閲覧数をアップできるように投稿頻度を増やして活発に活動していきたい。	【評価】 3.2 参考資料 ・ 学生便覧(入学及び授業料等に関する細則) ・ 入学選考合否判定議事録 ・ 看護専門学校運営委員会報告書 ・ 入学案内、面接内容例・面接評価表
【Ⅶ-3】 学納金	1) 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 2) 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	継続的に、入学金、授業料、実習費、施設設備費についての学納金は、教育内容、必要経費を基本にして算定している。また、その学納金は、募集要項に明示できている。今後も、入学者のみならず、入学辞退者に対する適正な対応ができるような取り決めと取扱いができるよう努める。	【評価】 3.4 参考資料 ・ 学生便覧(入学及び授業料等に関する細則) ・ 入学選考合否判定議事録 ・ 看護専門学校運営委員会報告書 ・ 入学学校案内(募集要項) ・ 都内看護専門学校や都内私立看護大学のホームページ

Ⅷ 財務

評価項目	評価指標	総 括	評価（４段階） 参照資料
【Ⅷ-1】 財務基盤	1) 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 2) 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	安定した入学者の確保や学生支援のために、各種奨学金制度や本校の特待生度を有効に活用する。今年度より授業料等値上げを施行した。今年度の受験者数は前年度より 2 割減で入学者も 3 名定員割れであった。3 学年でも 113 名と 1 割減であった。今後は受験者数や入学者の減少が考えられるため、学生確保における学校広報等についての検討がさらに重要である。 学校及び法人運営については、医師会事務局経理課が以下の会計業務に努めている。 現金取引のチェック、月次決算の実施、科目残高内訳表作成、税区分・仕訳入力ミスの訂正処理、四半期ごとに看護学校運営委員会に報告。（予算実績差異、前年度比較増減分析）。四半期ごとに財務委員会で、すべての会計について、予算進捗状況、予算実績差異、前年増減等を比較検討し実施している。委員会で審議した内容を理事会に報告している。	【評価】 3.0 過去 3 年間の貯金収支計算書 過去 3 年間の消費収支計算書 過去 3 年間の財産目録 過去 3 年間の貸借対照表 理事会議事録、財務分析結果 過去 3 年間の学校基本調査票 過去 3 年間の法人基本調査票
【Ⅷ-2】 予算・ 収支計画	1) 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 2) 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	予算・収支計画は、教育目標・内容、学校の事業計画に伴って予算配分を行っているが、単年度にとどまっている。育目標・内容、学校の事業計画に伴って予算配分を行っている。今年度は、実習指導パート教員の採用により、教員は充足したが、入学生の定員割れ（1 名）している。今後は受験者数や入学者の減少が考えられるため、収支への影響が懸念される。また今後、教育 DX の導入など学習環境を整備し、教育活動を充実させるため、予算を組んでいく必要がある。	【評価】 2.5 ・短期予算・収支計画 ・過去 3 年間の貸借対照表 ・過去 3 年間の財産目録
【Ⅷ-3】 監査	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	顧問弁護士による月次定例税理士監査を実施している。（勘定科目、税の課否判断、消費税の区分、資産・費用の判断等）上半期と年度末に外部監査人による監査を実施している。また、その内容を監事へ報告のうえ、監事監査を受けている。監査法人による監査報告書を理事会にて報告を行っている。	【評価】 3.0 ・過去 3 年間の監査報告書 ・報告審議理事会報告 ・監査法人による監査報告書 ・財務改善計画書

【Ⅷ-4】 財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成し、実績を記録している。公表方法はホームページに掲載している。	【評価】 3.0 ・財務帳票、事業報告書 ・財務公開実績 ・学校ホームページ
------------------	----------------------------------	--	---

Ⅸ 法令等の遵守

評価項目	評価指標	総 括	評価（4段階） 参照資料
【Ⅸ-1】 関係法令、 設置基準等 の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<p>学校関係法令・専修学校設置基準（看護師養成所指導要領）に基づき、厚生省・文科省管轄の必要な諸届を行っている。学校運営における規則・規定については、学校運営に関する規定については、昨年の検討課題を受けて、「学生細則」「履修科目及び単位認定に関する細則」「図書室利用に関する細則」「入学金及び授業料に等に関する細則」「懲戒に関する細則」を改訂し、教職員・学生に周知して適切に運用することができた。教職員・学生に対し、コンプライアンスやハラスメントに関する相談が数件あり、いずれも規程に沿って会議、面接、相談者との話し合いで解決した。学生に対して、学校規定を遵守するための一環として、接遇マナーなど講習を教課外活動に組み入れた。</p> <p>今後は、教職員に対しても、多様化する学生に対応すべく、合理的配慮やハラスメント研修の参加を勧奨していく。</p>	【評価】 3.0 ・所轄庁への認可届出書一式 ・各種規則・規程 ・各種会議の資料および議事録 ・学校の現況（施設設備等、教員一覧、設置基準を満たしているか）
【Ⅸ-2】 個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<p>受験志願者、学生、卒業生の保有する個人情報については、本校の「個人情報保護方針」規程に基づいて、周知し運用している。教職員の個人情報管理、大量の個人データを蓄積する電磁的記録の取り扱い、情報漏洩なども含めて医師会のプライバシーマーク制度を導入し運用している。</p> <p>今後はさらに、個人情報保護の方針と対策を整備し、教職員や学生に対して、研修や講習などの方法により、周知徹底と意識啓発を行っていく。</p>	【評価】 3.0 ・個人情報保護方針・規程（学生便覧・実習要綱・就業規則） ・入学ガイダンス・臨地実習前オリエンテーション資料

<p>【IX-3】 学校評価</p>	<p>1) 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 2) 自己評価結果を公表しているか 3) 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 4) 学校関係者評価結果を公表しているか</p>	<p>自己点検・自己評価については、学則・細則に「学校評価」に関する規定を定め、年度末に実施している。令和6年度も、「私立専門学校等評価研究機構」の「専門学校等評価基準」に従って点検・評価を実施した。評価結果に基づき、学校規程の改定、学生国家試験対策の強化、ボランティア活動等による地域貢献に努めた。次年度に向け、「学校評価実施規程」を検討している。</p> <p>自己点検・自己評価の結果を報告書にまとめ、評価結果として10月にホームページに掲載した。結果の公表は毎年7月末を目指す。</p> <p>学校関係者評価については、実施に至っていない。学校関係者評価の実施体制として、組織体制を検討し、整備していく必要がある。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則・細則（学校評価等・学校評価検討会議） ・自己・学校評価報告書 ・学校評価公表資料
<p>【IX-4】 教育情報の公開</p>	<p>教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>	<p>学校の教育活動等に関する情報（学校紹介、教育内容、入試案内・就職先・学費等）は、学校案内・学校ホームページ・オープンキャンパスなどで公開している。今年度からInstagramを取り入れ学校生活などの公開も行った。</p> <p>教育情報の提供については、学生・保護者・実習関連施設・地域住民などに拡大して公開できるよう検討していく。</p>	<p>【評価】3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内 ・学校ホームページ

X 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価指標	総 括	評価（4段階） 参照資料
【X-1】 社会貢献・ 地域貢献	1) 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 2) 国際交流に取り組んでいるか	<p>地域の医療実習施設との連携を図り、学生の学習・職業教育効果を上げるとともに、地域医療施設の就職につなげ、地域医療の貢献を目指している。地域の医療実習施設との協議会（2～3/年）を通して連携を図り、現行カリキュラムの臨地実習として学生指導を行っている。3年次には、臨地実習のまとめとして「事例研究発表会」を学内で開催し、実習施設と共同して学習効果を図った。今年度の地域医療施設への就職率は53%）</p> <p>地域貢献については、地域の行政機関と連携を図り、教育資源を活用した地域社会貢献に努めた。（検診、防災訓練、江戸川マラソン、高齢者スマホ教室他）また、学校施設を学校祭や高齢者スマホ教室などの機会に、卒業生や地域活動に開放している。</p>	<p>【評価】 3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則（教育理念） ・実習要綱（地域・在宅看護論実習、精神・母性・小児看護学実習）
【X-2】 ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	江戸川区の行政機関や地域の組織規模の活動に対し、学生に情報提供を行い、活動への参加を推奨した。防災訓練・神経難病検診・江戸川マラソン大会・高齢者スマホ教室・消防訓練などの活動支援を行った。また、学年全体にボランティア活動の結果を周知した。今後は、学生のボランティア活動の成果を適切に評価し、他の学生と共有できる場を検討する。	<p>【評価】 3.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営会議資料および議事録（事業計画） ・ボランティア実施案内資料